

累計で44万t(北海道民126万人分)の資源を回収 回収した資源は子育て支援に還元

生活協同組合コープさっぽろ(以下、コープさっぽろ)では、店舗や宅配システムドックで組合員さんからダンボールやチラシなどの資源を回収しています。2022年度の回収実績は37,972t(トン)となり、これは23,987tのCO2削減に相当します。また2008年からの累計では443,576tになり、北海道の人口126万人分(※)の年間のゴミ排出量に相当します。(※北海道庁発表、1日平均961gで算出)

回収された資源は、コープさっぽろエコセンター(以下、エコセンター)で処理されます。エコセンターでは、ダンボールやチラシ・新聞紙・紙パック・トレイ・発砲スチロール・天ぷら油(廃食油)・アルミ缶・スチール缶・古着等を回収・処理しています。例えば、回収したペットボトルを石狩のリサイクル工場へと運び、フレーク状に細かく分解。そこからまた再生ボトル工場へと運ばれ新しいペットボトルに生まれ変わります。このような資源回収は、組合員さんからの声を受け1990年に牛乳パックの回収を行ったことから始まりました。その後「組合員さんの生活に役立つことをしたい」と環境のためにできることを考え、2008年にリユース・リサイクルのための施設「エコセンター」が江別に誕生しました。

毎年5月30日は、「ご(5)み(3)ゼロ(0)」の語呂合わせで「ごみゼロの日」に定められています。特に昨今問題になっているのが海洋ごみです。年々使用が増えているプラスチックやペットボトルは、環境汚染の大きな問題の一つで、年間800万tものプラスチックごみが街から川を経由して海へ流れています。海洋ごみが生物の生態系を脅かし、2050年には海の生物よりごみの方が多くなると言われています。そのためコープさっぽろでは資源にできるものは資源にしてごみを減らすこと、海や川を清掃する活動を行っています。さらに、資源をリサイクル工場に販売した収益は、次世代のために活用したいとコープさっぽろの子育て支援の取組みに使われています。

コープさっぽろでは、今後も「北海道で生きることを誇りと喜びにする」を理念に、人と人、人と食、人と未来をつなぐ事業を行ってまいります。

■エコセンターの資源回収量(2022年実績、単位:t)

ダンボール	: 18,168
週刊ドック・チラシ	: 15,993
古着・古布	: 1,295
新聞紙	: 833
天ぷら油(廃食油)	: 740
トレイ・発砲スチロール	: 326
紙パック	: 284
内袋(ドック配達時に使用)	: 122
ペットボトル	: 106
アルミ缶・スチール缶	: 86



コープさっぽろ エコセンター



昨年の海のクリーンアップ大作戦の様子

■プラスチックごみ削減の取組み

・海のクリーンアップ大作戦

全道で行う海岸清掃活動です。2021年より開始し、3回目となる今回は6月17日・21日に46箇所の海岸で実施します。昨年は全道51箇所で開催し、8,372人が参加、回収ゴミ袋は6,706袋にも上りました。

・マイボトルエコアクション

マイボトル持参でペットボトルの使用をできるだけ減らす取り組みです。コープさっぽろではオリジナルマイボトルを販売し、購入すると1本につき10円を活動する基金へ寄付します。

・ペットボトルリサイクル

2020年より開始したペットボトル回収の取り組みです。現在、自動圧縮機能付回収機を84店舗に設置し、ペットボトル1本につき0.3円が活動団体へ寄付(寄付先は選択可能)。きれいなペットボトルを分別してペットボトルにリサイクルできる工場へと送り、資源化を促進しています。回収の段階で容量を減らすことで、物流費を抑えることができています。



ペットボトル回収機

・魚函リサイクル

北海道ぎょれんとコープさっぽろが2022年7月に共同開発した買い物かごです。原料は、漁業者が船内や市場で鮮魚を運ぶときに使うプラスチック製の魚函です。破損した魚函は毎年約1万個が廃棄処分されていますが、その一部をぎょれんが回収して買い物かごに作り替えて再利用することで、プラスチックごみ削減につなげます。第一弾として買い物かご3000個を生産し、コープさっぽろ全店で組合員さんの「マイかご」用に1個440円で販売しました。



魚函を素材とした買い物かご

■リサイクルの収益が原資となっている子育て支援

・えほんがトドック

1～2歳のお子さま、またはお孫さんのいるコープさっぽろ組合員世帯を対象に、合計8冊の絵本をプレゼントする取り組み。2010年に開始し、2022年までに累計11万8817世帯にのべ53万3405冊を配布しました。(※2023年4月から8冊に変更、2023年3月までは4冊を配布)

・えほんがトドックワクワクキャラバン

北海道内の保育園や幼稚園、子育て支援センターなどの施設に無償で伺い、子どもたちに「絵本の楽しさ」を知ってもらう取り組みです。2021年度は54園に訪問し、2,656名が参加しています。

・FCB・CCB(ファーストチャイルドボックス・コープチャイルドボックス)

2018年にスタートした北海道で初めて出産を控えた妊婦さんへ、ベビー服やおむつなど約30点を無償でお届けする取り組みです。2019年からは第2子以降出産予定の組合員さんに「コープチャイルドボックス」をお届け。これまでにFCB・CCB合わせて累計で55,715人の方にお届けしています。



親子のふれあいにつながる
えほんがトドック



えほんがトドックワクワクキャラバン



ベビー服やおむつなど約30点を
提供するFCB

■ [コープさっぽろエコセンターについて①](https://coopcycle.sapporo.coop/media/future/future_2018/) https://coopcycle.sapporo.coop/media/future/future_2018/

■ [コープさっぽろエコセンターについて②](https://coopcycle.sapporo.coop/media/future/future_2279/) https://coopcycle.sapporo.coop/media/future/future_2279/

【報道関係のお問合せ先】

生活協同組合コープさっぽろ 常務理事 小松 均 広報部 広報メディアグループ 森 恵莉・森 ゆかり
〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 TEL 050-1741-5516(平日9時～18時)